

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、新春を健やかに迎えのことに
お慶び申し上げます。

昨年、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、躍動する選手の皆さんの姿に、多くの希望や感動をいただくとともに、人と人との温かい絆の大切さを改めて実感した年でありました。本市においても、昨年、本格的なスポーツと健康づくりの場である朝宮公園陸上競技場「スポーレ春日井」がオープンし、幅広い世代の方々に利用され、新たな交流やにぎわいが生まれているところ
であります。

現在、コロナ禍をきっかけに、新しい生活様式の考え方が浸透するなど、時代の転換期にあると認識しております。本年は、行政手続のデジタル化やキャッシュレス化など、社会の変化に対応した取り組みを積極的に進めてまいります。また、グリーンパレス春日井の屋内の遊び場や朝宮公園に遊具広場がオープンするとともに、市民病院において、より高度で専門的な医療が提供できる新棟が完成いたします。これからも、人が集い、笑顔があふれ、そして、優しさが広がる、安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。本年が、皆さまにとって素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



春日井市長
伊藤 太

春跳

「春跳」^{しゅんちやう} 伊藤 太書

本年は、春日井市が目標に向かって跳び成功する年になるようお願いをこめて



令和4年年頭にあたり

明けましておめでとうございます。市民の皆さまに謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃から、市議会に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、本市においても新型コロナウイルスの感染が拡大し、地域経済や市民生活の様々な分野において深刻な影響を及ぼしました。

私たち市議会も活動の自粛から市民の皆さまや各団体との交流の機会が制限されましたが、このような状況だからこそ、一層皆さまの声を市政に反映したい、そんな思いが募った1年でありました。

昨年4月には東海市議会議長会会長に就任し、コロナ禍により悪化が進む経済や疲弊している市民の皆さまに寄り添い、地域の再生を促していくため、東海4県96市議会を代表して、国に支援措置や対策を強化する要望を致しました。残る約4か月の任期においても、引き続き各都市の興隆発展に寄与するため、誠心誠意責務を全うする所存でございます。

本市議会と致しましても感染予防と社会経済活動の両立に向け、行政と今まで以上に真摯に議論を尽くし、市議会としての役割を果たしてまいります。

結びに、春日井市の更なる発展と皆さまのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。



東海市議会議長会会長
春日井市議会議長
友松 孝雄



冬「日の出を望む高座山」



秋「内々神社」